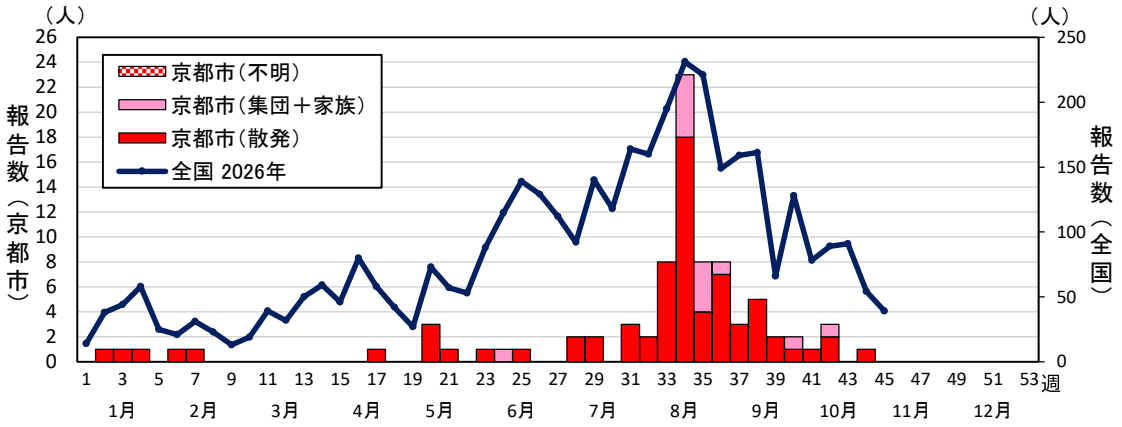
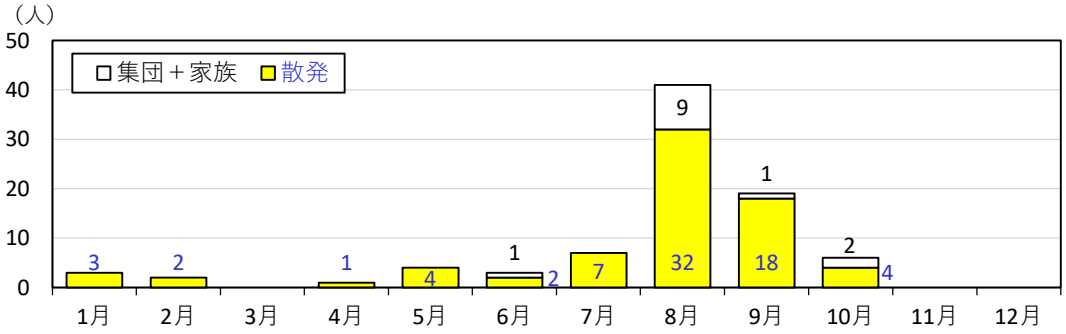
●腸管出血性大腸菌感染症発生状況

2026年 第1週から第45週まで

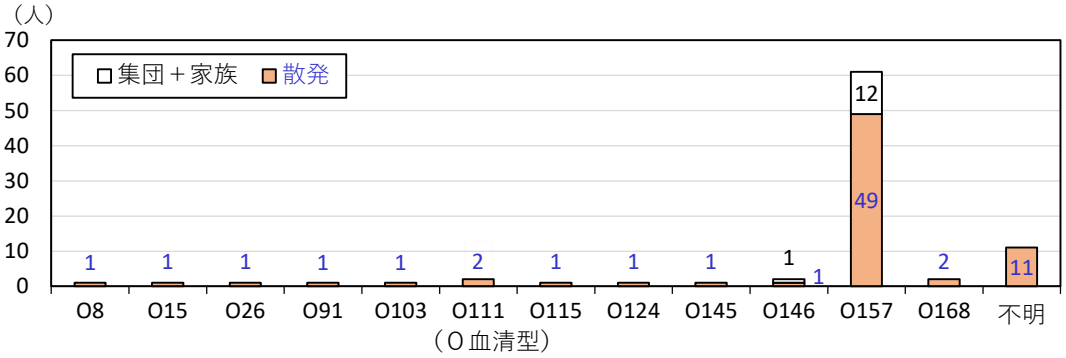
1. 京都市及び全国の推移



2. 月別患者発生数



3. O血清型別患者発生数



4. 年齢階級別発生数

